



川口けいすけの グリーンズ川越

56
since 2003

編集/発行 川越市議会議員 川口 啓介(無所属)
〒 350-8601 川越市元町1-3-1 川越市役所6F 無所属議員控え室
TEL 080-3025-5776 FAX 049-227-3810 E-mail mail@kawaguchi-keisuke.net

25年度 市債残高過去最高の926億円超

平成25年度予算案は、国の緊急経済対策を踏まえ、平成24年度大型補正予算と一体的なものとして編成され、一般会計・特別会計合わせて、前年比2.3%増の約1835億円となりました。

川越駅西口の駅前広場改修や地域振興ふれあい拠点施設整備の進捗に伴い、市債残高は増加しました。近年同様、大幅な増収が見込めず、義務的経費（扶助費・人件費・公債費等）や特別会計への繰出金の増加に対応しながら大規模事業を行うには、未来からの借金である市債発行か、貯金（財政調整基金等）を切り崩すしかない現状にあることは、これまでもお伝えしていた通りです。

注目の新事業をピックアップ!

「市のHPで見られます!」 

☆ **社会資本マネジメント推進事業**：川越市公共施設マネジメント白書を基に、「整備更新計画の策定」の検討を行うとともに、老朽化したインフラ施設についても全庁的な調査研究を行う。

この事業は、市が所有、管理する公共施設やインフラ施設（上下水道や橋、道路等）を効率的・効果的に整備・建替え等、管理していくための事業です。これから高度経済成長期に建設された社会資本が対応年数を迎え、集中的に整備や建替えが必要になる時期が来ます。しかし、これまで川越市には、公共施設の全体像を統一的に整理したものがありませんでした。この白書により利用状況やコスト情報が明らかになり、厳しい財政状況や市民ニーズの変化、少子高齢化などに対応しながら、いかに整備更新計画を立てていくかが**今後の川越市にとって極めて重要**になります。

川越市では2022年から2033年頃、建替え等のピークを迎えます。

☆ **デマンド型交通システム実証実験**：「川越シャトル」の見直しを検討している路線の中で、他の交通手段での代替が困難な地域に、乗り合い車両によるデマンド型交通システムの導入を検討し、25年度に実証実験(42・43系統)を行う。

一般的にデマンド型交通とは、利用者が電話で利用時間帯と目的地を告げ、予約をします。車は乗り合う人を時間にあわせて順に迎えに行き、全ての人を目的地まで送るといったものです。過疎地での導入事例が多く、**実施主体として商工会や地域住民組織が主体になるケースも多く見られます。**

デメリットとしては、需要があまり多いと不便になり(目的地までの時間が掛かる)、需要が少ないとコストが掛かり、行政負担が増えることとなります。

☆ **オールマイティーチャーター配置事業**：さまざまな学校の問題(心の教育・学力向上・いじめ等)解決のために、県採用教員とは別に、**市費で臨時教員を配置する。学校長の企画書により臨時教員の配置がその学校の問題解決につながるかを行政側で判断し、教員配置校を決定。**25年度は中学校10校に配置。**年度末に行政側が成果をチェックする。**担当課では来年度以降事業を拡大したい意向あり。**積極的な取り組みで、川越市の独自事業でもあり大変評価したい事業**です。

☆ **ネットパトロール事業**：市内全市立中高等学校の生徒を対象に、ネット上のいじめ等から守るために、学校の非公式サイト等の検索及び書き込み等を監視し、適切に対処する。契約業者：ピットクルー(株)

☆ **その他**：
空き店舗対策事業 → 空き店舗登録されている店舗を利活用した場合、経費の一部助成。
山王塚古墳調査 → 市指定文化財である当古墳の歴史的価値を明らかにする発掘調査。
市役所本庁舎耐震化 → 防災中枢拠点として機能するよう、25・26年継続の改修事業
(仮称)地域まちづくり推進条例の制定 → 地域住民がその地域の特性を生かし、自主自立した活動を推進するための条例。

